

2014年5月8日

2014年3月期 決算IR説明会 質疑応答概要

株式会社メイテック

1. 日 時 2014年5月8日(木) 16:00~17:10
2. 場 所 当社東京本社 カンファレンスルーム

3. 質 疑 応 答

質問 以前、単価は年1%程度向上させていると説明があったが、メイテック(MT)は横ばい、メイテックフィルダーズ(MF)は減少、となった理由は？

回答 スタート時に単価が低い新卒エンジニアの入社が平均単価を押し下げる要因になります。MFも新卒の採用者数が多いため、平均単価を押し下げる要因になっています。なお、既存社員の単価アップは継続して図っていきます。

質問 採用に関する費用の金額は？

回答 戦略的な部分ですので、具体的な回答は控えさせていただきます。

質問 ニューマーケットゾーンとは具体的にどのようなマーケットですか？

回答 まだ、具体的に定義付けしていませんが、2~3千円/hの業務で、メイテックグループとして対応可能な業務領域や製品分野を調査・検討していきます。あくまでも、設計開発を行う製造業におけるエンジニア業務を対象に考えています。

質問 増員が続いているが、研修施設や設備など受け入れ体制に問題ないか？

回答 これまでの採用実績と研修受け入れ実績、さらに既存社員の研修も問題なく実施できていることから、体制は万全です。また、今後の採用計画数を見ても、問題はないと考えています。これからも、市場ニーズの変化にあわせて、研修の質を向上していきます。

質問 退職率を低下させる取り組み内容は？ また、来期予想前提の退職率見込を一昨年レベルで想定した理由は？

回答 退職防止の取り組みについては、戦略的な部分ですので、具体的な回答は控えさせていただきます。キャリア形成をきめ細かくサポートすることが、退職率の低下につながることを踏まえ、継続して取り組みます。なお、予想の前提としては、若干の余裕をもたせてあります。

質問 退職率低下の取り組みはMT・MF共通か？

回答 共有している施策もありますが、それぞれの独自施策もあります。

質問 派遣法改正によるメリット・デメリットは？

回答 予定されている改正点は大きく2つで、1つめは特定派遣と一般派遣が一本化、無期雇用・有期雇用により区分、そして、すべて許可制となること、2つめは26業務区分が廃止されることです。改正によって、業界が健全化され、メイテックグループにとってビジネスチャンスがあると考えます。また、26業務の廃止により、若年層のキャリア形成における選択肢が広がると考えます。

質問 業界の健全化とは？

回答 お客様や社員にとって望ましい事業を確実に実施できる優良派遣事業者が選別されることです。

質問 新しい派遣先にエンジニアが配属され、その実績が増員受注につながるケースが増えていくと考えるが、その具体的な成功例は？

回答 質問されたような流れがメイテックの強みです。今のお客様の多くは、新しいお客さまに一人の派遣者の配属から始まって、その後に増員していただいているケースが多いです。当社エンジニアが実績を上げ、それがお客様からの信頼につながっています。新卒をお客様に配属できるのは、お客様が新卒を受け入れても立ち上がり早いことや成長・品質が高いことへのお客様の信頼があるためです。また、仲間のサポートや支え合いがメイテックの強みです。

質問 これからも1,000人規模の採用を続けられるのか？

回答 足元の2年間で、新卒採用は実績を上げています。またリーマンショック後のメーカーの採用が開発人員の採用を強化している厳しい環境下でも、キャリアの採用も実績を上げています。厳しい環境下でも、当社をアピールし、メイテックグループのファンになっていただき、安心して働ける会社であることを訴求し続けます。また、職業として生涯働くことができる環境であることを伝えていきます。具体的な施策は、戦略的な部分なので、回答を控えさせていただきますが、これまでの実績を踏まえて、さらにブラッシュアップしていきます。

質問 自動車が好調ですが、これから伸びると見込まれる産業分野は何ですか？

回答 自動車の業務には、電気・電子等の幅広い分野が関わっています。これからも、幅広い分野のお客様からのさまざまなご要望に応じていきます。

質問 給与体系は現状維持で、単価も維持する予定か？給与と単価のミスマッチの心配は？

回答 給与体系はこれからも逐次見直していきます。エンジニアのキャリアアップにあわせて、適正な賃金を設定していくとともに、適正な単価の獲得も継続して努めていきます。

以上